

広島交響楽団 第27回島根定期演奏会

2019.7.28 (日) 14:00開演(13:30開場)

島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール

島根県益田市有明町5-15 TEL:0856-31-1860



ピアノ
鐵百合奈

Piano
Yurina Tetsu



指揮
現田茂夫

Conductor
Shigeo Genda

©Koichi Miura

Program

ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」

Berlioz: Roman Carnival Overture Op.9

シューベルト：交響曲第5番変ロ長調

Schubert: Symphony No.5 in B-flat major D485

サン＝サーンス：ピアノ協奏曲第2番ト短調

Saint-Saëns: Piano Concerto No.2 in G minor Op.22

ラヴェル：ボレロ

Ravel: Bolero

Concertmistress：蔵川 瑠美 Rumi Kurakawa

※都合により出演者・プログラムなど内容を変更する場合がございます。予めご了承ください。

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

※無料託児サービスがございます。

ご希望の方は7月21日(日)までにお申込みください。

※車いす鑑賞エリア、赤外線補聴装置をご希望の方は、グラントワへお問合せください。

〈チケット発売日〉

2019年4月14日(日) (広島事務局は2019年4月15日(月))

※グラントワでの発売は9:00～窓口/12:00～電話予約

〈入場料(全席指定・税込)〉

S席3,500円 A席2,500円 学生券1,000円

友の会会員 S席3,150円 A席2,250円

※学生券は小学生以上、25歳以下の学生が対象(グラントワと広島事務局のみで販売)

※学生券は公演当日、座席指定券と引換(要学生証)

プレイガイド

[益田] 島根県芸術文化センター「グラントワ」、宮内オリент商会本店、

サウンドパレット、ブックセンタージャスト高津店

[浜田] 石央文化ホール、みずほ楽器 [江津] 江津市総合市民センター

[津和野] 津和野町観光協会

[吉賀] カサヤ書店 [萩] 萩楽器店 [広島] 広島事務局

[全国] ローソンチケット(Lコード:62001) TEL:0570-084-006 WEB、店頭Loppi

主催 / 島根県、公益財団法人しまね文化振興財団(いわみ芸術劇場)、

公益社団法人広島交響楽協会

共催 / 芸術文化とふれあう協議会

助成 / ごうぎん島根文化振興財団

特別協賛 / 中国電力

協賛 / 株式会社キヌヤ、株式会社島根互助会、株式会社ジュンテンドー、

高橋建設株式会社、徳栄建設株式会社、株式会社松永牧場、

石見交通株式会社、大畑建設株式会社、ダイワボウレーヨン株式会社

株式会社ミック、株式会社森本建設



お問い合わせ・託児申込み グラントワ TEL:0856-31-1860



広島交響楽団 第27回島根定期演奏会

音の小径、喜びも哀しみも踏みしめて

鐵 百合奈のサン＝サーンスは日本音楽コンクールで聴衆賞を得た注目の演奏。
変化に富んだプログラムを現田が巧みな音運びで聴かせ、音楽の小道に誘います。

▶今注目のピアニスト・鐵百合奈がグラントワ初登場

2017年、第86回日本音楽コンクール第2位・岩谷賞(聴衆賞)・三宅賞の受賞で注目を集めた鐵 百合奈。
今回演奏するサン＝サーンスはコンクールで披露した曲目で、多くの聴衆の心を掴んだ演奏です。

「限りなく深い歌」

軽く思われがちなサン＝サーンスのピアノ協奏曲第2番から、鐵 百合奈は悲しみがこみあげるような表現を引き出す。
超越的なテクニックを持ちながら、全くそれにとらわれず、彼女の音楽は限りなく深い歌に満ちている。 音楽評論家 梅津 時比古

▶現田茂夫は大きな感動を生んだオペラ「夕鶴」(2014年2月)以来、5年ぶりのグラントワ登場

大ホールで何度も指揮し、その音響を熟知した現田が共演を重ねる広島交響楽団とともに多彩なプログラムをどう紡いでいくか、どうぞお聴き逃しなく。

指揮：現田 茂夫 Conductor : Shigeo Genda

東京生まれ。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)で汐澤安彦、三石精一両氏に師事。その後東京藝術大学で佐藤功太郎、遠藤雅古両氏に師事。1985年安宅賞受賞。
96年より13年間神奈川フィルハーモニー管弦楽団を指導し飛躍的に躍進させ、その功績も称えられ2009年より名誉指揮者の称号を得る。他の主要オーケストラとも数多く共演し高評を得ている。また、世界的チェリスト故ロストロポーヴィチと皇后陛下の古希祝賀コンサート等で共演し高評を得ている。

オペラ指揮者としても経験豊かで、東京二期会、関西二期会での指揮も数多くの公演を行っている。02年からは錦織健プロデュースオペラの音楽監督を務め2年ごとに全国公演。
11年はアンサンブル金沢と金沢歌劇座・兵庫庫立芸術文化センター他(5都市6公演)で“椿姫”を公演。14年には市川右近(現三代目市川右團次)新演出“夕鶴”の全国公演も行い高評を得、16年に再演を行った。

また、ベドロッチェ国際指揮者コンクール(イタリア)の審査員や、NHK-FMラジオのパーソナリティを3年間務めるなどバラエティに富んだ活動を行っている。



©Koichi Miura

ピアノ：鐵 百合奈 Piano : Yurina Tetsu

香川県生まれ。第86回日本音楽コンクール第2位、岩谷賞(聴衆賞)、三宅賞。第4回高松国際ピアノコンクール審議員特別賞。日本クラシック音楽コンクール高校の部グランプリ。大阪国際／ローゼンストック国際ピアノコンクール、各第1位。

皇居内桃華楽堂にて御前演奏を行う。これまでに神奈川フィルハーモニー管弦楽団、芸大フィルハーモニア、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、高松交響楽団と共演。

2017年度香川県文化芸術新人賞受賞。

論文「『ソナタ形式』からの解放」で第4回柴田南雄音楽評論賞(本賞)を受賞、翌年「演奏の復権：『分析』から音楽を取り戻す」で第5回同本賞を連続受賞。

ヤマハ音楽振興会、よんでん文化振興財団、岩谷時子Foundation for Youth、宗次エンジェル基金、各奨学生。

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学をアカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞、同声会賞を得て卒業。同大学院修士課程を大学院アカンサス音楽賞、藝大クラヴィア賞を得て修了。現在、同博士後期課程音楽専攻に在籍、青柳晋氏に師事。



広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を本拠地とし、中・四国を代表するプロオーケストラ広響は、2017年4月から下野竜也が音楽総監督を、クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者を務めている。
2004年から2016年まで音楽監督・常任指揮者を務めた秋山和慶は、2017年より終身名誉指揮者に就任した。現在は年10回の定期演奏会、呉・福山・廿日市・島根での地域定期やディスカバリー・シリーズをはじめ、依頼公演や学校コンサート、巡回コンサートなど年間約140回を超える演奏活動を行っている。これまでに「広島市政功労賞」「広島文化賞」「広島ホームテレビ文化賞」「地域文化功労者賞(文部大臣表彰)」「第54回中国文化賞」「第17回県民文化奨励賞」「第5回国際交流奨励賞」「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞(2013年度)」を受賞。

公式ホームページ <http://hirokyo.or.jp/>